

学長のコラム

大邱保健大学に行ってきました

7月8日(金)、9日(土)に、韓国の大邱保健大学(DHC)で開催された国際シンポジウムに行ってきた。齊藤法人局長は、7日(木)に出発されたが、小生は、7日15時から高校の進路指導者向け説明会で大学紹介をする役割があったため、8日(金)の早朝出発し、14時半ごろ大邱保健大学に到着した。訪問の目的は、次回のシンポジウムの開催校が本学であるので、開催方法・内容の調査と、交流協定校である大邱保健大学への表敬を兼ねたものであった。シンポ開催中の建物の入り口で、シンポのオーガナイザーである K.Y.Kim 教授と齊藤さんの出迎えを受けてシンポジウム会場へ。2nd セクションの終わりあたりで指定席に着席、セクション後のブレイク前に、MC も行っている Kim 教授に紹介され、会場の皆様に一礼。第一日目は、4つのセクションに分けられ、韓国大邱保健大学の医学検査(MT)、理学療法(PT)、看護(Nursing)の発表3件、フィリピン Centro Escolar 大学他の MT,PT,Nursing の発表3件、タイ・コンケン大学の MT,PT,Nursing の発表3件、そして、最後の第4セクションでは韓国大邱大学の MT,PT,Nursing の学生がそれぞれ発表した。第一日目の閉会の言葉をと、いきなり指名されたが、立派に組織化されたシンポへの賛辞を申し上げ、学生の英語での発表が優れており、そのことを熊本大の学生にしっかり報告しますと結んだ。その後、車に分乗してダウンタウンのレストランへ、Sung-Hee Nam (南星姫) 学長主催の晩さん会であった。おそらく、小生が訪問するというので、当初の予定を変更して、配慮がなされたと思像される。料理は、Nam 学長の説明によれば韓国宮廷料理の数々であり、10品以上の料理を満喫させていただいた。豪華な食事を前に、小生の挨拶では、“来年に向けて、貯金をしないとイケない”と申し上げ、爆笑を頂いた。

2日目は、研究発表はなく、3大学からの参加者は、三つのそれぞれの分野に分かれて、Public Healthcare における教育と協同研究に関する討議。私と齊藤さんは、特別メニューで、学内施設を案内していただいた。看護系のシミュレーション機器、リハ系の近代的で高価そうな機器(写真左)に目を見張った。シンポ会場にもどって、討議のまとめの報告会が持たれた後、最後に、また、閉会挨拶の役目をいただき、次回、熊本での開催への招待を申し上げた。

昼食の後、車に分乗して、DHC 附属の病院の見学に行く。総合病院をイメージしていたが、リハビリ専門の病院で、学生の実習病院も兼ねて、何とかペイしているとのこと、良いアイデアであると感じた。その後は、観光バスでのダウンタウンツアーであったが、大邱薬令市(ヤムヤムマーケット)の韓医薬博物館の見学が興味深かった(写真右)。

本学でのシンポジウムの来年開催に向けて、早急に学内体制を準備せねばとの思いを齊藤さんと共有して、帰路についた。



7月・8月の主な行事予定

| | |
|---------|--|
| 7月2日(土) | 理学療法学専攻4年次保護者会 言語聴覚学専攻合同就職説明会 |
| 3日(日) | 進学ガイダンスセミナー2016(大学コンソーシアム熊本) 会場:熊本学園大学 |
| 7日(木) | 県内外の高校・予備校教員対象 進学説明会 |
| 8日(金) | 「大学生基礎力レポート」報告会 |
| 16日(土) | 大学院修士学位論文中間発表会 |
| 18日(月) | 海の日 ※通常授業・勤務日 |
| 24日(日) | 第1回オープンキャンパス |
| 27日(水) | 平成28年度「基礎セミナー」合同発表会 |
| 8月8日(月) | 前期定期試験(予備日含む)(~13日) |
| 11日(木) | 山の日 ※勤務日 |
| 15日(月) | 職員夏期休暇(~18日) |
| 21日(日) | 第2回オープンキャンパス |
| 25日(木) | 情報セキュリティ・個人情報保護委員会合同研修会 |
| 28日(日) | チャンレジ熊本大! 推薦入試対策講座 |
| 29日(月) | 第1回FDセミナー 九州大学 田中真理先生 |
| 30日(火) | 合同職員研修、主任・管理職研修(事務)(~31日) |

*

校友会球技大会

6月18日(土)、恒例の校友会主催球技大会がスポーツ熊本で開催されました。今年も崎元学長に参加いただき、教職員チームを含め、約150名が参加しました。崎元学長がターキーを出された時には、教職員だけでなく、学生たちも一緒に喜び、とても盛り上がりました。校友会役員も準備や運営を頑張り、学生たちの笑顔がたくさん見られたとても良い会となりました。

(文責:学務課)



車いすマラソンの駆動動作および駆動力に関する研究

理学療法専攻の松原講師、熊本機能病院、ホンダ R&D 太陽の研究グループが開発を進めている「車いすマラソンの駆動動作および駆動力計測システム」が、在京キー局を含む新聞（5社）・テレビ（5社）の取材を7月12日（火）に受け、紹介されました。「車いすマラソンの駆動動作および駆動力計測システム」は、車いすマラソン競技者の競技力向上をサポートするシステムです。同日、車いすマラソンのトップアスリートである山本浩之選手、土田和歌子選手の2名に対して、本田技術研究所、ホンダ R&D 太陽および八千代工業共創の競技用車いすを用いた計測およびフィードバックが行われました。なお、両選手はこの車いすを用いて9月に開催されるリオデジャネイロ・パラリンピックに出場される予定です。この事については、7月13日の熊本日日新聞で取り上げられています。

学校保健・北部中学校保健学習での健康教育

看護学科4年生「学校・産業保健」科目履修者19名が3班に分かれ、6月22日（水）・29日（水）・7月6日（水）に北部中学校で、3年生「薬物乱用防止」、2年「アルコール」、1年「タバコ」をテーマに健康教育を実施しました。思春期の中学生に健康への影響だけでなく誘われた時の断り方も、劇やスライドで分かりやすく伝えました。生徒や先生からも活発に質問があり、年



齢の近い大学生と中学生が共に学び合う交流の場となりさらに嬉しいことに、来年度も是非実施してほしいとの要望がありました。

（文責：中村教授・戸渡講師）

看護マネジメント特別講義

6月13日（月）に米国イリノイ州の聖アンソニー大学からコリン・クライン氏、勝又麻子氏、角田みなみ氏らが来日し、4年生に向けて看護マネジメント特別講義が行われました。入職後自分の短期目標を書く、よい先輩を探す、本を読み見聞を深める、なんでも恐れず続けてみる、看護をする中で心に触れる体験をしたときは書き留める、など、自分を育て、自分のキャリアやライフスタイルに合った働き方を創り出す“create your journey”の話でした。また、米



（文責：徳永准教授）

合同就職説明会

7月2日（土）本学にてリハビリテーション学科言語聴覚学専攻の就職説明会を開催しました。本説明会は言語聴覚学専攻実習指導者会議に合わせて開催し、会議にご出席の施設のうち10施設が病院説明や採用情報等についてご説明くださいました。各ブ

ースでは学生から多くの質問もなされました。今後就職活動を本格化する4年生にとって、就職に対する意識の高揚や具体的な進路選択を考える貴重な機会となりました。（文責：就職支援センター）



植物の手入れ

5月26日（木）に、リハビリテーション学科生活機能療法学専攻3年生は「植物を用いる作業療法（園芸療法）」の演習をしました。日ごろから本学内の花壇づくりや手入れを行なっ



ていた三勢さんに手ほどきを受けながらハーブ花壇の手入れと花植えを行ないました。植物の生育は「生命力」「環境」「手入れ」がかみ合わなければうまくいきません。患者さんへの作業療法と似た構造があります。今までは時折眺めるだけだったのが、水遣り

や日当たりの調整など花たちの成長が気になって愛おしい今日この頃の生活機能療法学専攻学生です。

（文責：木村教授）



現在の様子です。色とりどりの花が元気に育っています。

私の秘話ヒストリー

今回は医学検査学科 原田幸一教授に投稿していただきました。

白ヤギさんと黒ヤギさんの手紙がお互いに食べられ、困ってしまったという歌がある。小学生のとき、当時は小倉市の到津（いとづ）遊園に行きヤギ檻の前にたどり着いた。歌を思い出し、ポケットのちり紙1枚を目の前のヤギの鼻先に突き出すと、ヤギは、ムシャムシャと食べてしまった。帰りの路面電車は満員で座れなかったが、揺れる電車のなかで、ちり紙一枚を取り出し、半分に破り分け、口に入れ食べてみた。噛み切ることができなかったが、唾とは混ざり一塊のものとなった。つぎに飲み込んだが、簡単に出来ず、目がシロクロとなったであろう、どうにか嘔下し胃袋に送りこんだ。人には紙セルロースを分解する消化酵素はなく、紙を食することはできないことを後で知った。同じ動物ではあるけれど、ヤギと人間は同じではないことに気がついた。動物はそれぞれの形態で地球上に存在し、お互いに種の保存に邁進していることを悟るのはそれからのことであった。

（文責：原田教授）

明日からの臨床・実習に使える

言語聴覚障害診断

言語聴覚学専攻の大家准教授が、言語聴覚障害に関わる診断基準をまとめたものを執筆されました。監修は本学で非常勤講師も勤められる都筑澄夫先生です。

